

南房総市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 中間報告書

1 調査の概要

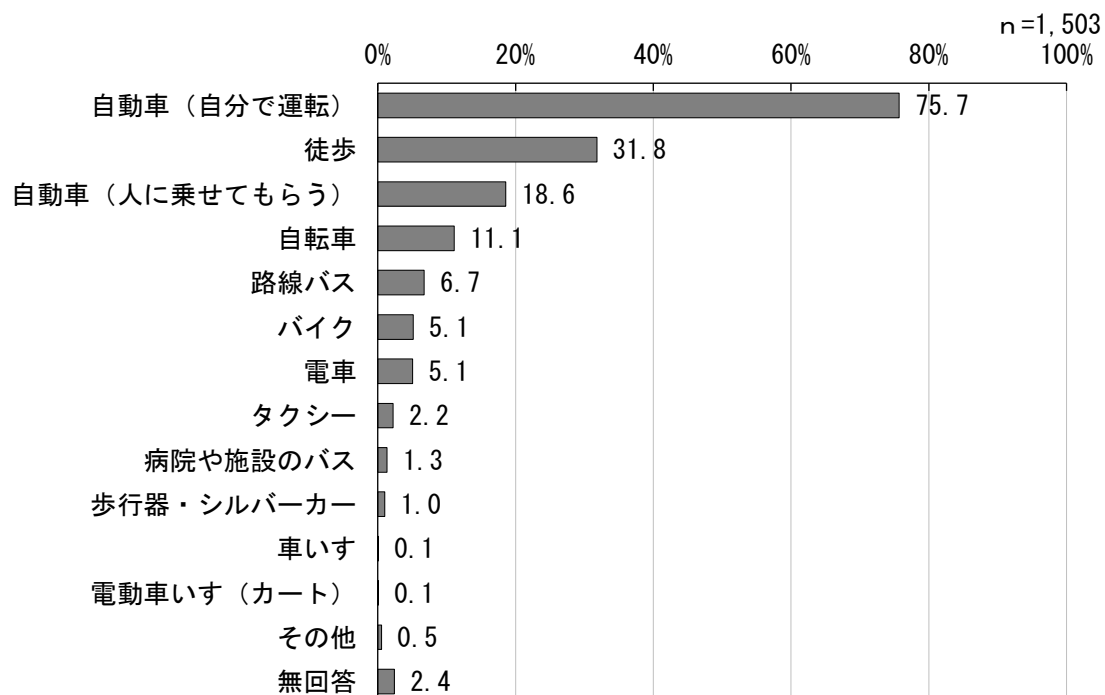
- 調査対象：南房総市在住の要介護認定を受けていない65歳以上の方2,800名
(一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者)
- 調査開始日：令和8年1月19日(月)
- 調査方法：郵送配布・回収
- 回収数：1,503票(令和8年2月2日、7日送付分)
- 回収率：53.7%(令和8年2月7日時点中間報告)

2 速報値からみえる課題(中間報告)

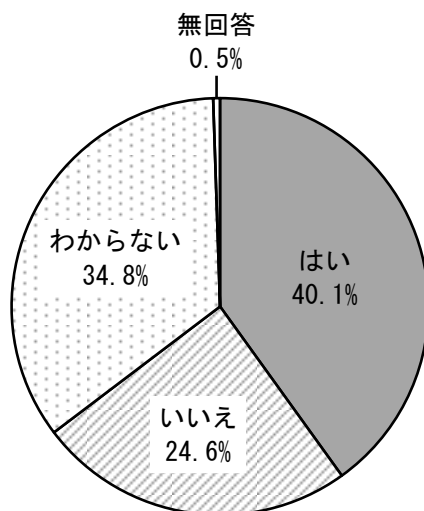
(1) 運転免許返納後の移動手段の確保

外出時の移動手段として「自動車(自分で運転)」を利用する人が75.7%に上り、生活に車が欠かせない地域性がうかがえます。一方で、自分で運転する人のうち、将来的に免許を自主返納したいと思うかについて「はい(40.1%)」、「わからない(34.8%)」と約75%を占めています。免許返納後も高齢者が買い物や通院などの日常生活を維持できるよう、代替となる公共交通機関や外出支援サービスの充実が喫緊の課題です。

問2 10 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)



問2 10(1) 自分で運転をされている方は将来的に運転免許証を自主返納したいと思いますか。
(○は1つ)

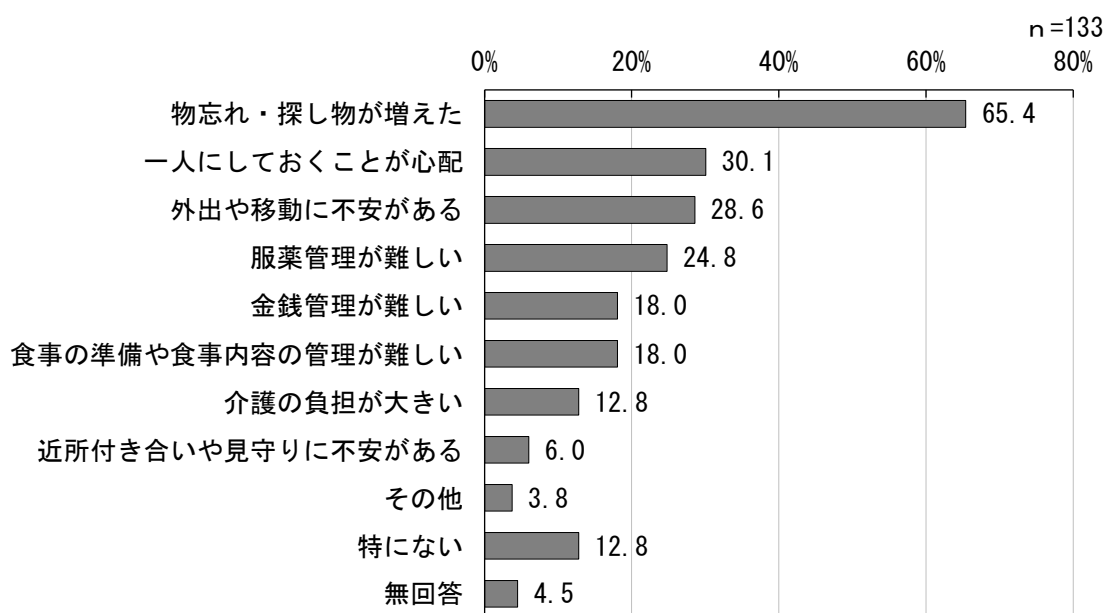


n=1,138

(2) 認知症に関する相談窓口・支援の周知不足

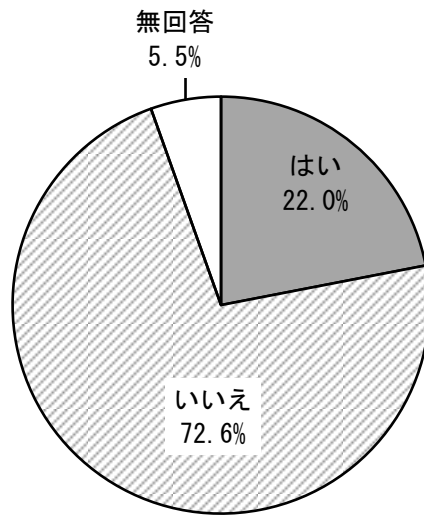
認知症の症状がある人（または家族）が生活で困っていることとして、「物忘れ・探し物が増えた」が65.4%と突出しています。しかし、認知症に関する相談窓口を知らない人が72.6%、支援の道筋を示す認知症ケアパスを知らない人が81.4%に達しています。当事者や家族が孤立せず、適切な時期に医療や介護の支援へ繋がれるよう、相談体制の周知と住民への啓発活動を強化していく必要があります。

問8 1(1) 生活の中で、困っていることはありますか。(○はいくつでも)

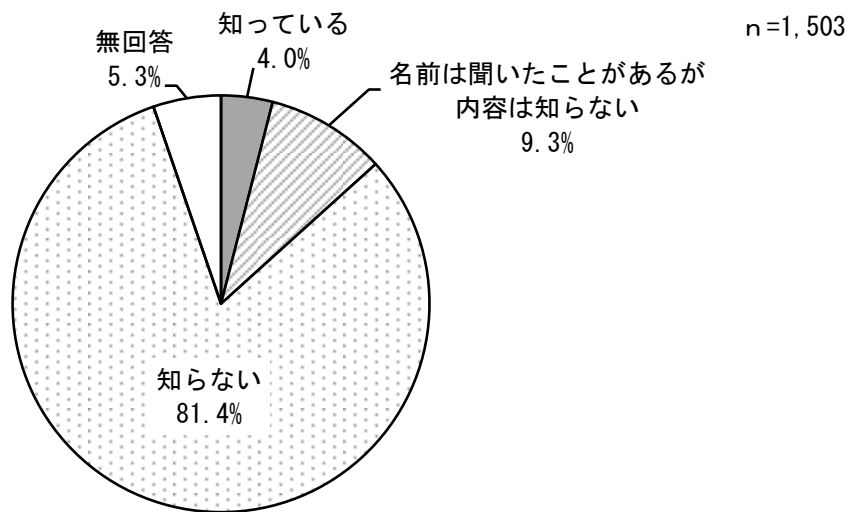


n=133

問8 2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)



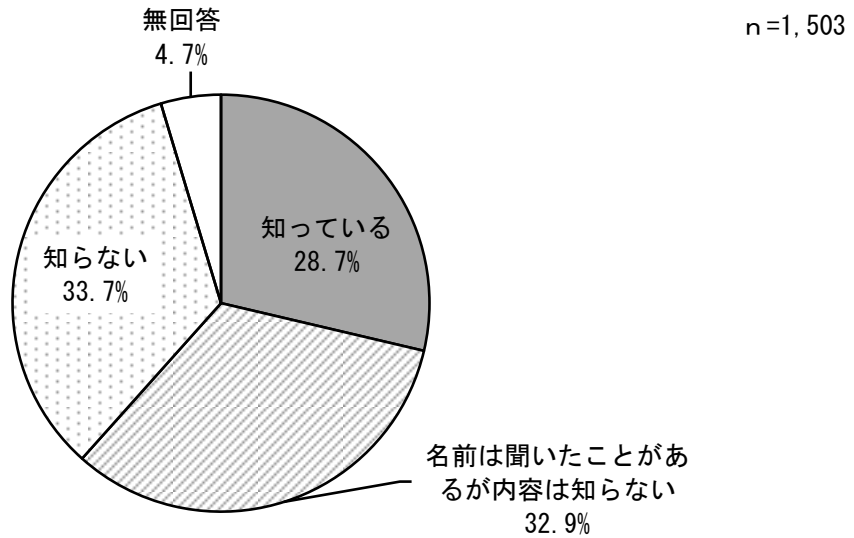
問8 3 認知症ケアパスを知っていますか。(〇は1つ)



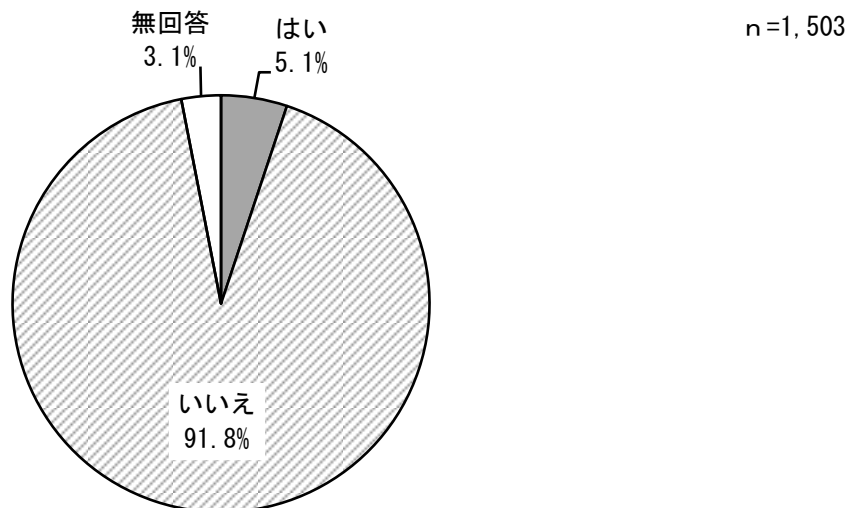
(3) 地域包括支援センターの認知度向上

高齢者の身近な総合相談窓口である「地域包括支援センター（あんしんセンター）」について、「知らない（33.7%）」、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない（32.9%）」と答えた人が合わせて約66%に上ります。実際に利用したことがある人もわずか5.1%に留まっています。今後重点を置くべき施策として「どんな相談も丸ごとできる窓口の充実」も求められており、センターの役割の周知徹底が課題です。

問6 4 地域包括支援センター（あんしんセンター）を知っていますか。（○は1つ）



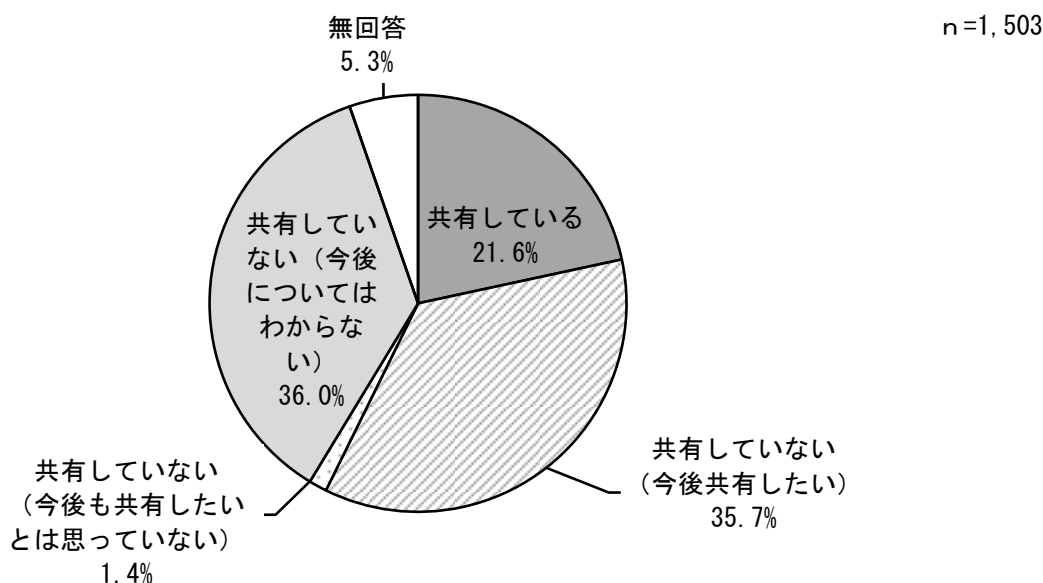
問6 5 地域包括支援センター（あんしんセンター）を利用したことがありますか。（○は1つ）



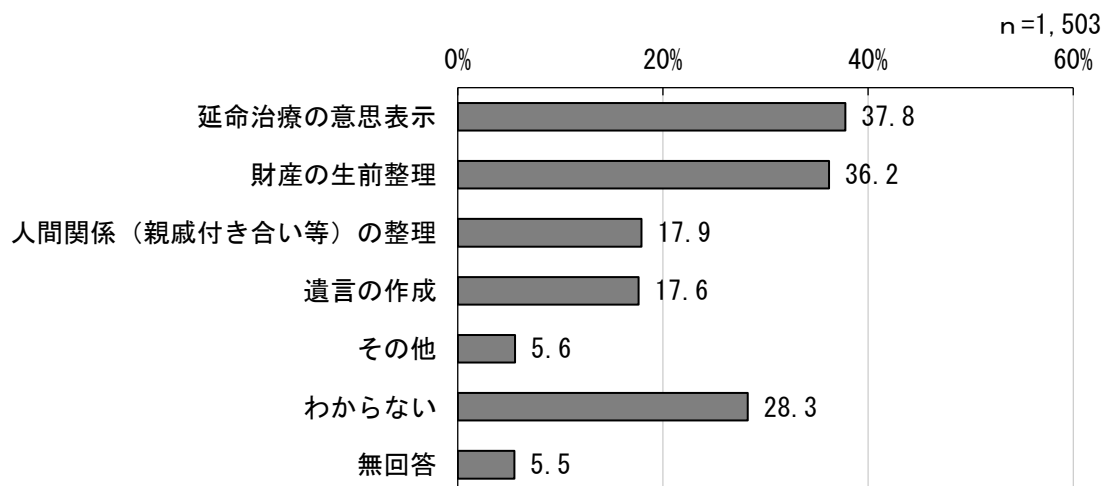
(4) 終末期医療やケアに関する意思の共有（ACPの推進）

回復の見込みがない状態になった際、どのような医療やケアを受けたいかについて、家族など親しい人と「共有していない」人が約73%を占めています。今後の終活として「延命治療の意思表示」に取り組みたい人が37.8%いるにもかかわらず、実際の意味共有には至っていない現状があります。最期まで本人の望む生き方を実現できるよう、アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の考え方を普及させる必要があります。

問9 2 あなたが回復の見込みのない状態になったときに、どのような医療・ケアを受けたいかを、家族等の親しい人と共有していますか。（○は1つ）



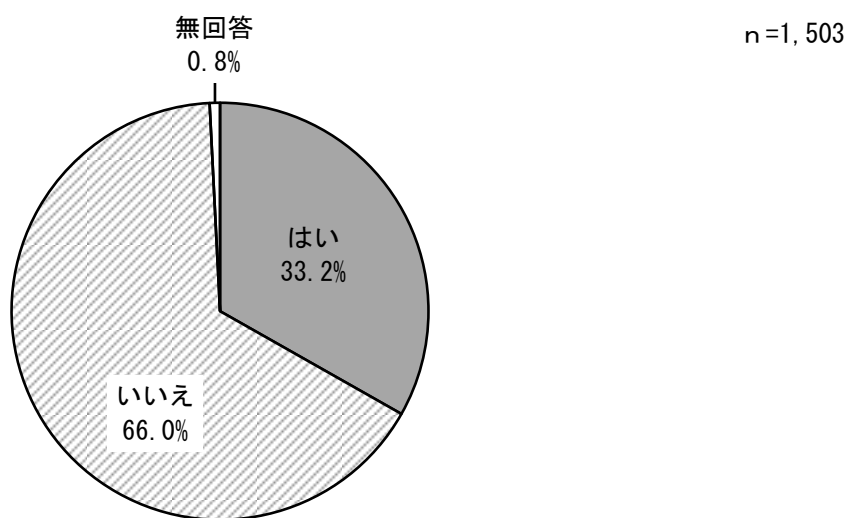
問9 3 人生の最期に向けた活動（終活）で取り組みたいと思うものは何ですか。（○はいくつでも）



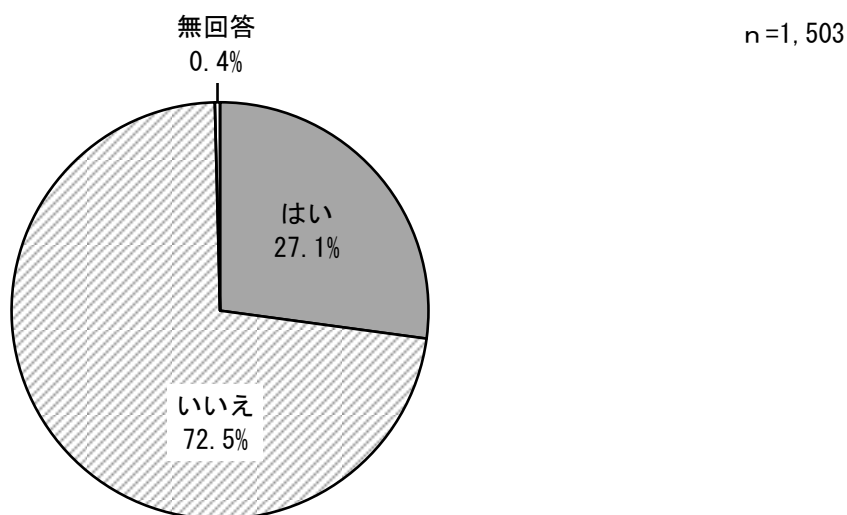
(5) 口腔機能の低下（オーラルフレイル）への対策

「半年前に比べて固いものが食べにくくなった（33.2%）」、「お茶や汁物等でむせることがある（27.1%）」という回答がそれぞれ約3割となっています。また、「自分の歯が19本以下で入れ歯を利用していない」人も13.0%存在します。食べる機能の低下は低栄養や全身の虚弱（フレイル）に直結するため、高齢者が早期に歯科受診や口腔ケアに取り組めるような啓発と支援の強化が重要な課題です。

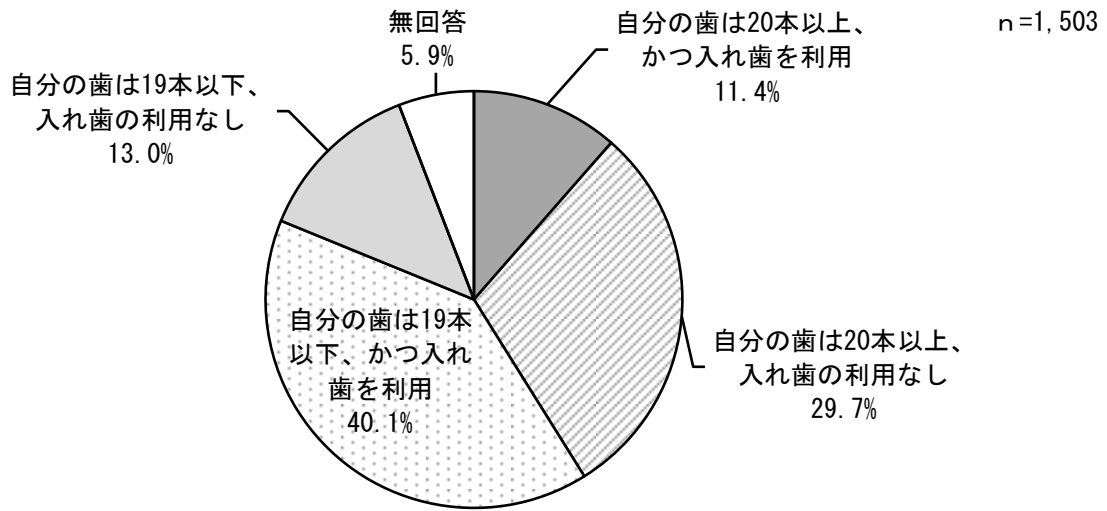
問3 2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)



問3 3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)



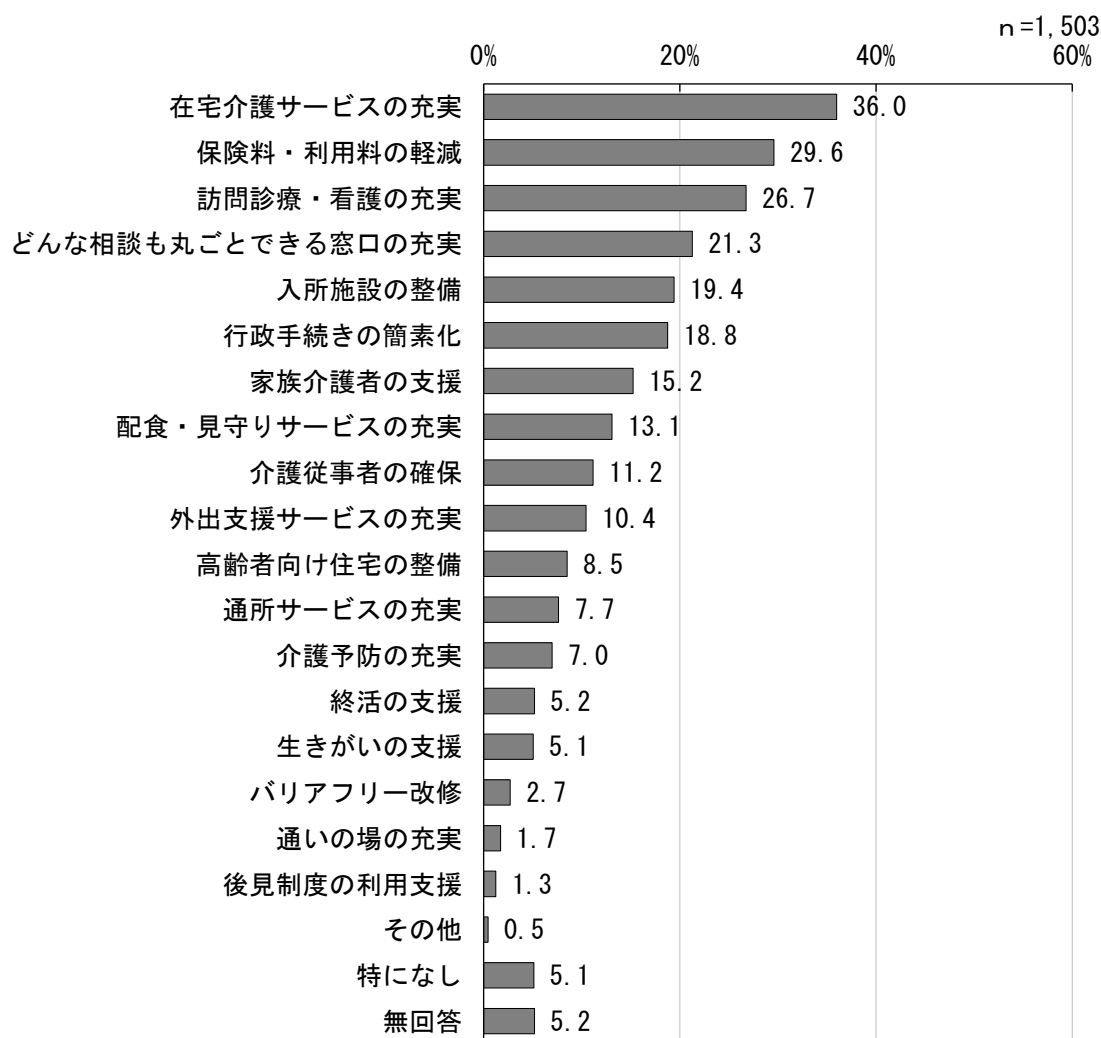
問3 6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(○は1つ)



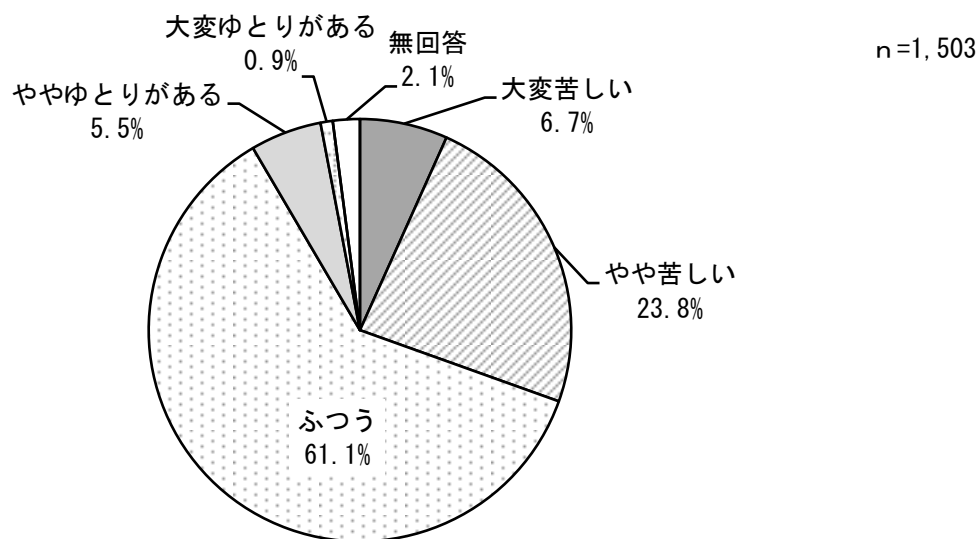
(6) 在宅生活を支えるサービスの拡充と経済的配慮

今後、国や市に重点を置いてほしい施策として、「在宅介護サービスの充実 (36.0%)」、「保険料・利用料の軽減 (29.6%)」、「訪問診療・看護の充実 (26.7%)」が上位に挙がっています。また、現在の暮らしを経済的に「大変苦しい」、「やや苦しい」と感じる人が約3割存在します。住み慣れた地域や自宅で安心して暮らし続けるためには、医療・介護の在宅支援基盤の拡充と同時に、経済的負担への配慮も求められています。

問9 5 今後、国や市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(〇は主なもの3つまで)



問1 11 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)



3 自由意見分析（中間報告）

問9 将来の希望とこれからの施策について
南房総市の高齢者施策について、ご意見・ご提案があれば、ご自由に記入してください。

(1) 意見の分類

番号	分類項目	意見件数
1	交通手段・移動支援	41
2	施設の充実・入所待機	20
3	費用負担・金銭面の不安	18
4	情報提供・周知	17
5	相談窓口	14
6	生きがい・交流の場・運動施設	12
7	介護人材の確保・待遇改善	10
8	一人暮らし・在宅支援・見守り	10
9	手続き・認定の簡素化・改善	8
10	健康維持・介護予防	8

(2) 分類項目ごとの代表的な意見

1 交通手段・移動支援

- 町内外を無料で利用できる移動バスがあると助かります(病院・買物に行く際利用したい)。
- 今は車の運転 82 才頑張ってますが、出来なくなったら、通院等(亀田病院)に行けなくなるのが特に白浜の場合バスが無いので心配です。
- 小型車(コミュニティバス)のきめ細かい路線を増加、増便希望します。免許返納者の足が無くなるのが一番困ります。
- 免許証の自主返納をする時期を考えています。交通手段が不便すぎて、答えが出ません。買い物は、生協とかの利用でなんとかできますが、通院が問題です。
- 自立者でも、買い物や通院の手段で困っている人が増えているので、低額(有料)で利用できる巡回バス等の運行があれば助かります。

2 施設の充実・入所待機

- 少子高齢化の増加の現状を喫緊の課題と捉え、市として、特養入所等の待ち期間の短縮と様々な対策をとって頂くと考えています。
- 閉校した学校を活用して、高齢者、介護の施設を多くしてほしい。民間だけの施設ではなく、市や国の管理するものを、作ってほしい。
- 在宅の介護が出来なくなった時の施設の充実を希望します。
- 高齢者の多い地域なので入りたい時に入れる位の施設数が欲しい。高額な都市部の施設まで行かなくて良い、近くで入れる個室の施設をお願いしたい。
- 市で介護入院施設を開設していただきたい。民間の介護施設では、収容人数が足りない。

3 費用負担・金銭面の不安

- 私達団塊世代が施設に、スムーズに入れるか心配。入所費用が自分の年金でまかなえるか不安。
- 介護保健料の個人負担が大きいです。今、収めている人達が収めている分だけの介護が受けられるのか?と不安になります。
- どのような施設ができて、金銭的にもきびしい。介護保険料、医者代、生活費大変です。
- 高齢者老人ホームの入居費用が高くて入居出来ない。国の費用援助が必要である。
- 現在、受給している年金では入所施設には入所出来ない。不安である。

4 情報提供・周知

- 入所可能な高齢者施設についての情報を常に公開して欲しい。
- このアンケートにある『地域包括支援センター』『リエイブルメント事業』『認知症ケアパス』等、理解していない。
- 市で現在、どういうことを行っているか、案内状(お知らせ)を、送ってほしい。
- もっと介護のことを高齢者に周知してほしい。『介護』は、お金だけ強制的に年金から取られているがどうすればいいか知らない人が多い。
- 移住してきた者にも分かりやすく具体的に(場所・内容等も)情報を提供していただきたい。

5 相談窓口

- どんな事でも相談ができる窓口がほしい。(終活の相談他)
- 高齢者が、なんでも相談できる窓口がほしい。(これから先、老、老介護が、不安)
- 現在一人暮らしで、病気・ケガなどをしたときに、誰に相談したらよいか、相談相手等を知りたいです。
- どんな相談でも出来るような窓口が出来たらとても便利であり安心です。
- 小さな事でも、相談出来る窓口は?とか、考えてしまいます。

6 生きがい・交流の場・運動施設

- 高齢者が、意見を言える場所もしくは、集会所を設けてほしい。
- 近くに公園が有るのはうれしい事です。年齢問わず楽しめるイベントがあったり、思いがけず遠方の人達と会うのは、リフレッシュ出来ます。
- 高齢者のみ利用出来る、居酒屋的な店。地区ごとではなく、市全体で利用できる場所。
- 小単位(部落でも)の親交の場が欲しい。昔の老人会の組織の存続が欲しい。
- 隣に行きたくなる場所(運動ができる、本が読める、〇〇がある)という自分を治せる広目の場所が欲しいと思いました。

7 介護人材の確保・待遇改善

- 現在ヘルパーの仕事(20年以上)をしておりますが介護職員が少ない。
- 病院、介護等への職員不足がみられるので援護が必要だと思います。
- 介護(訪問)ヘルパーを増やす。市独自で訪問ヘルパーを募集して派遣する。
- 介護職員に対する待遇の改善は、何よりも重要だと思います。
- いつまでも在宅で過ごせる様、ヘルパーの確保、又(待遇をよくして人材の確保)、サービスを充実して欲しい。

8 一人暮らし・在宅支援・見守り

- 単身生活で高齢者(80才以上?)に対して、年何回かの情報(見回り?)訪問があれば安心です。
- 自分が高齢者になって周りを見ると、あまりにも多くの1人暮らし予備軍がいることに改めて気付く。高齢者の1人暮らし対策をお願いしたい。
- 独居なので今後、動けなくなったら、どのような介護があるか不安。(車の運転、買物等)
- 独居老人の為の買物支援等、交通手段の確保。通院等の支援。週何回かの独居老人宅の見回り。
- 隣近所に空き家が多くなり又高齢家族も多くなって来ている。突然なにかあった時今までのようには相談したり手伝っていただく事が出来ない。

9 手続き・認定の簡素化・改善

- 何事においても申請しなければいけないサービスばかりなので高齢者には無理だと思っ
て簡単にできる手続きをしてほしい。
- 書類など提出する時1回で済む様配慮してほしいです。
- 介護サービスを受ける場合の順序、一覧表を作成して欲しい。(わかりやすく)
- 要支援や要介護の認定について。支援・介護の認定の見直しや方法を再構築した方が
良いのではないか…？
- 介護手続きが楽に出来る様にしてほしいです。

10 健康維持・介護予防

- 高齢者自身私達が健康に気をつけ家族、まわりに迷惑かけないように努力し楽しみをつ
くりながら生活出来るようがんばりたい。
- まだ元気で過ごせる様、自己管理の必要を感じています。
- 健康で長生きの為の予防や正しい知識が必要。
- できれば死の一步前まで、いわゆる『ピンピンコロリ』といきたい。そのための
予防医学に施策の一つとして考えられないだろうか。
- 介護にならない様に介護予防の充実に力を入れてもらいたい。